

【別紙様式】

<p>南あわじ市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	淡路人形協会事業継続支援		
総事業費 (千円)	10,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	10,000千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルスにより運営に甚大な影響を受けた本市が誇る伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」を今後も継承するため、常設館である（公財）淡路人形座を運営する淡路人形協会に対して事業継続のための運営費を支援する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金：1事業者×1千万円＝1千万円 （内訳）・運営費：250万円×4月</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 淡路人形座協会</p> <p>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 500年の歴史を持ち、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形浄瑠璃は、本地域に根差し、地域の人に愛される本市が誇る郷土芸能である。淡路人形浄瑠璃の公演を継承する唯一の運営団体であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅な減収となった淡路人形協会を交付対象者として、支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、淡路人形浄瑠璃の技芸を継続して磨くことにより、地域の賑わいづくり（活性化）が確保される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う2度の緊急事態宣言（4月6日～5月31日、1月18日～3月7日）により、淡路人形座の休館を余儀なくされた結果、同期間の収益が得られなかった。このままでは、事業の継続が困難な状況に陥っている。</p> <p>淡路人形協会を交付対象者として支援金を交付し、淡路人形浄瑠璃の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の活性化に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		